

優科豪馬橡膠有限公司 (Y-CH) CSRレポート

事業内容: 中国エリアのタイヤ、MB製品生産会社、販売会社の経営管理、中国プロジェクト投資管理
442.36m²

従業員数: 61名 (うち、Y-CH社員35名、YCTC社員26名) (2015年2月)

所在地: 中国上海市長寧区虹橋路1452号古北国際財富中心10階

相談・苦情などの受付窓口:

TEL: 0086-21-32091717 FAX: 0086-21-61671388

ホームページ: www.yokohama.com.cn

サイト長ご挨拶



近藤 成俊

優科豪馬ゴム有限公司は、2005年に設立された横浜ゴムグループの中国統括会社です。

中国には、タイヤと工業品の事業を展開しており、現在4拠点の工場と2拠点の販売会社を合せ計7社体制で運営しています。

横浜ゴムが掲げるCSR経営ビジョン「社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業になる。」に準拠した事業運営を生産・販売の両面から実施しております。

◇**世界で培ってきた環境対応技術 (製品・製造) を中国に生かす!**

急速な経済発展を遂げた中国では、現在深刻な環境問題に直面しております。先進の環境商品を中国市場に投入するとともにゼロエミッション、公害ゼロを目標に世界で培ってきた製造技術・設備を中国に投入すると共に高い環境マインドで環境貢献に取り組んでおります。

◇**中国の法規制を順守し、清く正しい公正な事業活動行!**

コンプライアンス (法令順守) を事業の活動指針とし、公正な事業慣行、労働慣行を行います。従業員一人一人にコンプライアンス、環境・社会

貢献の教育を徹底し、国際社会で通用する企業人の育成に注力しております。

◇**私共の独自の視点から中国の環境保全に貢献できる領域を切り開く!**
誰にでも気が付く、また誰にでもできる領域だけでなく、私たち「優科豪馬」独自の視点から中国の環境貢献、社会貢献を考え、オンリーワンの領域を見つけて活動を推進したいと考えます。既に少数民族地域の生活支援活動をはじめ独自領域の活動において高い評価を頂いております。

◇**省資源こそが最も重要で大切!**

私たちは、「必要なものを、必要な時に、必要なだけ供給する」と言う「Just In Time」を志向し、生産方法～在庫量・在庫の持ち方～配り方(配送)を考え、SCM (Supply Chain Management) の構築を進めております。中国の商習慣とは一線を画す考えである事を承知の上で、「優科豪馬グループ」のポリシーとして取り組んでおります。

以上の通り、私共は国際メーカーとして中国市場で事業活動をさせていただいている事への「恩返し」を常に念頭に置いて事業活動を行っております。特に、社会貢献、環境貢献については強い意識と信念を持って今後も取り組んでいきたいと考えております。

組織統治

年一回従業員向けのコンプライアンス教育を行っています。その中で特に中国現地原料の採用活動推進に伴い、購買担当への不正防止教育も実施しています。

人権

中国の法律に基づいて男女の差別なく雇用をし、無差別の社風をつくっています。

労働慣行

労働安全衛生

中国の労働法律を順守し、安全な職場づくりを重視しており、従業員に年に1回の消防訓練を参加させています。また、従業員の健康も配慮し、年に一回の健康診断を手配し、健康保険も無料で従業員に提供しています。



消火訓練

働きやすい職場づくり

また、福利委員会という従業員が自主的に集結した組織があり、社員旅行やスポーツ活動などを企画しています。



社員および家族旅行

CSZYでのISO14001環境内部監査

当社は横浜ゴムの中国統括会社であり、中国全拠点の環境パフォーマンス向上のために、以下の活動を実施しています。

エリア環境会議

2013年12月に1回目の環境会議を開催して以来、2014年6月に2回目、2014年11月に3回目の環境会議を開催しました。現在では、中国エリア各拠点の環境課題と環境活動を交流の場となり、中国エリアの環境目標の設定とフォローもされています。



中国エリア環境会議

グループ環境監査

2013年9月から実施されたグループ環境監査は、各拠点の環境責任者／担当により受検工場の監査を行い、法規制の順守や環境マネジメント

システムの運営状況を確認するという形で、よくできているところのノウハウを持ち帰り、まだできていないところを指摘して、経験を共有する活動です。2014年は各生産拠点を1回ずつ実施しました。2015年からは監査の基準を標準化し、継続的に監査を実施する上に最適化します。また監査員への教育も実施する予定です。これらの活動により、監査レベルのさらなる向上を目指します。

環境月報

各拠点間の情報共有の効率を向上するために、2015年1月から、各拠点から環境情報と環境パフォーマンスデータを収集。Y-CH自社が収集した情報と合わせ、中国エリア環境月報の発行を開始しています。



CSZY環境監査

 公正な事業慣行

当社の購買部門は、YRC本社の調達規範の1つである、“公平・公正かつ、謙虚な購買集団の意識を常に持つ”という基本方針を部門方針の中にも組み入れ、担当者まで意識させながら中国グループ原料／資材調達活動を行っており、調達先との共生およびWin-Win関係の構築を進めています。

特に、調達先選定や価格交渉・決裁プロセスにおいて、常に複数ソースを選定したり、担当者が二重確認をした上で上位者確認・決裁といった仕組みを構築し、まだ不正な取引風土が一部残っているリスクのある地域において、不正を起こしにくい／起こさない対策を実施しています。

 消費者課題

当社は直接に製品を扱っていませんが、タイヤ企画部とMB企画部を設置し、ユーザーの声を聞きながら、中国の市場戦略を立てています。

 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

老君山プロジェクトへの協賛

当社は国際メーカーとして中国市場で事業活動をさせていただいていることへの「恩返し」を常に念頭に置いて、2011年から継続的に老君山プロジェクトの協賛を行っています。

雲南麗江老君山は「三江併流」世界自然遺産保護区の核心地域ですが、河源村は老君山地域の門戸、障壁であり、その地域の自然環境の保護に極めて重要な役割を果たしています。河源村の土地面積は108平方キロメートル、住民数は2,000名余りであり、プロジェクトを展開する前に1名当たりの年間純収入はわずか650元でした（地方政府の統計による）。道路は通じず、教育は遅れ、村民の大部分は森林資源の盗伐、野生動物の捕殺および無秩序な採集を収入源としていました。繰り返された破壊的な生産は、現地の地形、貴重な自然資源をひどく破壊しただけでなく、さらに生物多様性も脅かしていました。

当社は2011年4月から老君山生態保護プロジェクトを協賛し始め、一方では、企業の資金援助によって村民グループを単位とした「村銀行」を設けています。経済的活動を通じてコミュニティの公共管理システムの構築を促進し、経済発展の権力を生態保護の責任と連動させ、村民を主体とする自然保護メカニズムを構築します。また、全村範囲内の生態産業協同組合を設立します。自然法則に合致した地元のエコ産業開発によって村民の自然資源利用方法を変え、環境を保護すると同時に経

済的利益を収める生産様式を模索するのを支援しています。

プロジェクトの成果として、2014年1月まで、河源村では、合わせて9カ所の「村銀行」がスタートし、合計203戸（村の所帯数の42%）がプロジェクトに参加。融資総額が373,000元に達し約3,055ヘクタールの山林が効果的に保護されました。

企業参画で経済発展を調整することを通じて環境保護問題を解決する中国初の事例として、老君山原始生態保護プロジェクトは、雲南省、麗江市政府および社会各界の人々にも高く評価されました。生態保護および地元エコ産業発展推進への貢献および価値があるため、プロジェクトは、2013年3月に国务院生態戦略研究所のプロジェクト観察ポイントに選ばれ、9月には第1回「美しい中国・グリーン盛典」年度最優秀公益プロジェクト称号を得ました。優科豪馬橡膠有限公司も、公益環境保護分野での際立った行動によって、光栄にも年度「最良企業イメージ賞」を獲得しました。



老君山CSR活動